

宮崎公民館講座 **大崎耕土・世界農業遺産を知る** ～鹿島台・松山編～

令和4年 11月 24日(木曜日)



越流堤・・・洪水時など一時的に流水量が多くなった場合、水を遊水地に逃すために堤防の一部を低くした堤防。頑丈にアスファルトで作ってある。



鹿島台歴史研究会・鈴木光太郎氏にガイドをして頂きました。

明治潜穴・・・大雨が降ると大洪水となる品井沼の水を松島湾へと排出するための潜穴。明治39年に完成した。





宮崎公民館講座 **大崎耕土・世界農業遺産を知る** ～鹿島台・松山編～
令和4年11月24日（木曜日）

吉田川サイフォン・・・吉田川と鶴田川の流れを分離するために川を立体交差させ、高城川に排水する。
近現代の技術を使った水管理のシステム。



わらじ村長 鎌田三之助記念館

鎌田村長は毎年、すべての家庭に「興村のしおり」を配布し、鹿島台村の人口、経済、予算や課題を示し続けました。この中から村長の「家庭改良策」の一部を紹介します。

●衣は礼と衛生の要なり

折り目を正して、清潔を心がけましょう。外見だけの飾りにとらわれず、自分に見合った品物を選ぶべきです。

●各人相当の職業に就くべし

だれでも自分にふさわしい職業につくべきです。就職難とは、うぬぼれている人の言葉です。いやしい職業などはありません。まず手近な所で仕事をみつけましょう。街角にも野や山にも就職を促すものはたくさんあります。なのに自分の力不足を反省せずに経営難だと思い込み、無駄に時を過ごせばついには日が暮れてしまい、道が遠のいてしまったとなげくことになります。



松山ふるさと歴史館



松山酒ミュージアム

